



なばり

2012年(平成24年) 4月8日発行

主な内容

- 1……ばりばり現役プロジェクト始動。
- 2……ロタウイルスワクチン・高齢者肺炎球菌の予防接種費用補助
- 3……介護保険料の基準月額が上がります
- 4……5月の相談

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 ✉ pr@city.nabari.mie.jp 🌐 http://www.city.nabari.lg.jp

Data | 名張市民の健康

■ 特定健診とがん検診の受診率は

県内で低い(平成21年度)

- ▼特定健診(40～74歳の国保被保険者/26%)…14市中14位
- ▼子宮(10.9%)・大腸(3.1%)・胃(2.6%)・肺(4%)の各がん検診…いずれも14市中14位

※厚生労働省 地域保健・健康増進事業報告より

■ 生活習慣病が重症化(平成21年度)

- ▼悪性新生物(がん)による死亡率が県平均より高い(名張市:人口10万人当たり285.1人 三重県:同262.5人 ※悪性新生物年齢調整死亡率(17～21年累計))
- ▼腎不全の1人当たりの医療費と、腎不全の病院受診率が県内で高く(いずれも14市中2位)、市内で人工透析患者が増加傾向(17年133人、22年181人)
- ▼高血圧の1日当たり医療費と、1件当たり費用額が県内で高く(いずれも14市中1位)、重症化してから受診していると考えられます。

地域に健康づくりの輪を広げたい

がんや脳卒中、心筋梗塞などの大きな疾患に結びつく生活習慣病。過食や運動不足、喫煙、ストレスといった普段の生活習慣が原因となり、多くの場合、本人に全く自覚症状のないまま進行していきます。健診で生活習慣病と指摘されても、自覚症状がないため放っておくケースも多く、気がついたらいつの間にか重症になっていたということも…。

そのため、まずは、多くの人に生活習慣病の恐ろしさを十分認識いただき、予防、そして早期発見・治療に結びつけていくことが大切です。市では、地域づくり組織や民生委員児童委員、まちの保健室などと協働しながら、健康への関心を高めていくなど、地域で健康づくりの輪を広げ、しっかりと根付かせていきたいと考えています。



健康支援室 保健師 柴垣 維乃

名張市民の生活習慣病予防を目指して

ばりばり現役プロジェクト 始動。

がんによる死亡率が県平均より高く、その一方で、がん検診の受診率が低い名張市。そのほか、高血圧や腎不全については、重症化してから医療機関を受診する傾向にあるというデータもあります。

こうした中、市では、「生活習慣病予防重点プロジェクト～ばりばり現役プロジェクト」に基づき、平成24年度から、胃や肺などのがん検診(節目年齢)を無料化し、特定健診の自己負担金を減額。また、身近な地域での検(健)診を推進するなど、生活習慣病の予防に重点を置いた取組みを進めていきます。

☎ 健康支援室 ☎ 63-6970



目標① 特定健診受診率の向上

平成20年に始まった特定健診。医療保険者(国保、健保組合など)が実施するもので、腹囲計測などメタボリックシンドロームの早期発見・治療に役立っているのが目的です。

平成22年度における国保の被保険者(40～74歳)の名張市民の受診率は26%。これを、

平成26年度には65%にすることを目標に、自己負担金を従来の半額とします(特定健診:500円、特定健診プラス:1000円)。また、医療機関での個別健診だけでなく、地域づくり組織と協働しながら、地域単位で集団健診を実施できるように取り組んでいきます。

目標② がん検診受診率の向上

平成24年度からは、胃がん、肺がん、子宮頸がんの各検診で、節目年齢の人(40・45・50・55・60歳)を対象に自己負担金を無料化します(このほか、大腸がん、乳がんマンモグラフィの各がん検診で引き続き実施。子宮頸がんは、20・25・30・35・40歳から対象を拡大)。

また、医療機関での個別がん検診実施期間を延長するほか、これまで保健センターで実施してきた集団がん検診を、より身近な地域でも実施できるように取り組んでいくなど、各がん検診の受診率向上(平成26年度には22年度比で6～14%増)を目指します。

目標③ 慢性腎臓病・高血圧の予防

近年、市内で増加傾向にある人工透析患者。腎臓機能が大きく低下してから治療を始めた、治療中でも生活習慣病が改善されなかつたりすることが主な原因です。また、治療に必要な高血圧(Ⅱ度・Ⅲ度高血圧)の人が増えていることも、同様の原因が考えられます。そこで、腎臓機能の低下や高血圧で治療が

必要と考えられる人のお宅を、保健師が訪問し、生活習慣を聞き取りながら、早期治療の必要性を訴えるほか、治療中でも、かかりつけ医と連携を図りながら、生活習慣の改善につなげます。こうした取組みをはじめ、生活習慣病の予防について、三重大学などの研究機関とも連携して進めていきます。